

令和元年度 全国開拓青年・女性研修会 in 青森 開催結果（概要）

令和元年10月16日から18日にかけて、開拓中央三団体（全日本開拓者連盟、全国開拓農業協同組合連合会、全国開拓振興協会）の共催により、「令和元年度（第38回）全国開拓青年・女性研修会 in 青森」を開催しました。

初日の10月16日は、八戸市番町の「八戸グランドホテル」にて、八戸市出身のメンタルプロコーチ・津村征広氏による講演会を開催しました。

津村氏は、人材育成研修や学校での特別授業・部活などで心理面のコーチングを行っている。講演では、「元気になる！ 心のスイッチの入れ方」と題し、言葉を使ったゲームを行なながら語った。

仕事やスポーツなどでパフォーマンスを上げ、元気になるには、心のスイッチを自分でつくることが必要だと指摘した。手法は、体と言葉を整えること。心と体はつながっている。

表情（笑顔）、姿勢、呼吸を整えて、良い心の状態をつくる。言葉には、エネルギーが宿っている。「ダメ出し」ではなく、勇気を与える言葉を贈る。良いところを見つけて、合い言葉「いいね！」と言うと、相手は嬉しくなり、勇気づけられる。



目標達成には「凡事徹底」が大切。なんでもないような当たり前のことを徹底的に行う。

当たり前のことにこそ「いいね！」を贈る。

また、「ありがとう」を返されると貢献の喜びで元気になると述べた。

ここで参加者4人ずつグループをつくり、ゲームを行った。それぞれに他の3人が「○○いいね！」と褒め、言われた側は、体や「ありがとう」でリアクション。会場は盛り上がった。

この後も、何種類かのゲームを行い、最後に津村氏は、コーチングで1歩1歩の「積み上げ」を続けることが結果につながると強調して、講演を終えた。

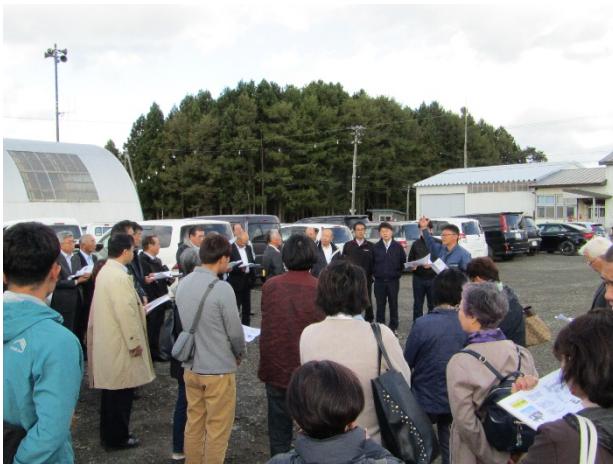


2日目は大型バス2台と乗用車に分乗し、現地視察と見学を行った。

県東部の北部上北地域の酪農は、開拓農家によって振興が進んだ。中でも東北町北栄地区は、県内有数の酪農地帯となっている。北栄トラクター利用組合のディリーサポート北栄と、その近在の㈱北栄デーリィファームを訪問。同組合参事で同社代表取締役の新山善弘氏の案内により、視察研修した。

05年から、同組合内に作業受託部門とTMRセンター部門を設け、酪農家に毎日、飼料をバラで供給している。新山氏による現況の説明後、デン

トコーンが詰め込まれたバンカーサイロでのローダーによる踏圧作業や施設を視察した。



同社は、地域の生産基盤維持等のために設立。牛舎やふん尿処理施設が完成間近で、12月の稼働を予定している。牛舎（写真下）はフリーストールで、ロボット搾乳機を4台導入し、搾乳牛240頭、未経産牛ほか84頭、計324頭を飼育する。参加者一行は、最新の機器を備えた施設を熱心に見て回った。



続いて一行は青森市に向かい、物産館やりんご園などを見学。夕方、「ホテルルートイン青森駅前」に入った。

研修会は3日目、朝食後解散した。

本研修会には全国から総勢78名の開拓関係者が集まり、開拓者間の交流も図られ、大盛況のうちに終了することができました。